

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年 8月 26日

京都市长 宛

提出者

住 所 京都市北区上賀茂ケシ山一番地

氏 名 社会福祉法人京都博愛会
理事長 富田 哲也

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 075-781-1131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	京都博愛会病院
事業場の所在地	京都市北区上賀茂ケシ山一番地
計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

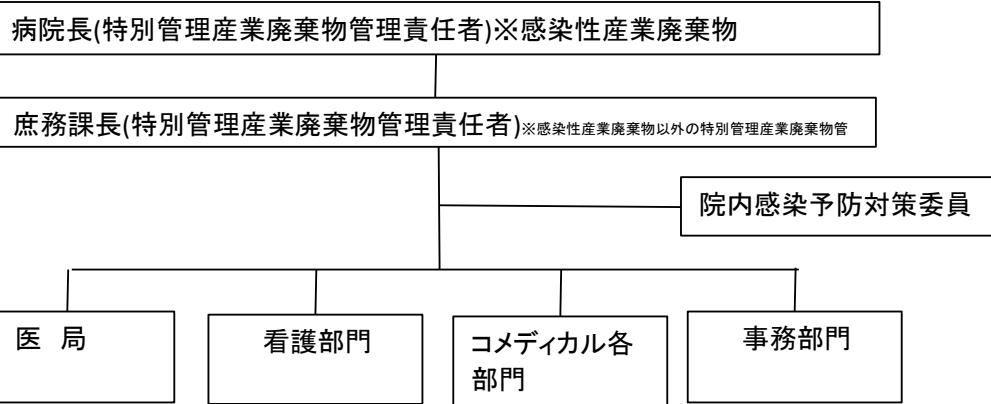
① 事業の種類	大分類：医療、福祉 中分類：医療業
② 事業の規模	病床数：390床
③ 従業員数	401人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	感染性廃棄物→委託処理(焼却)

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 注射針やメスなど鋭利な廃棄物は専用容器にて廃棄し、血液や体液が付着した廃棄物、感染症の患者さんに使用したすべての廃棄物を黄色の袋に入れ廃棄している。
	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も上記の分別を継続する。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		別紙集計用シートのとおり
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
①現状	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		別紙集計用シートのとおり
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
②計画	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		別紙集計用シートのとおり
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
①現状	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		別紙集計用シートのとおり
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
②計画	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】	
特別管理産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分を行つた特別管理産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t t
(これまでに実施した取組) 実施していない。	
①現状	
【目標】	
特別管理産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t t
(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。	
②計画	

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】	
特別管理産業廃棄物の種類	
全処理委託量	別紙集計用シートのとおり t t
優良認定処理業者への処理委託量	t t
再生利用業者への処理委託量	t t
認定熱回収業者への処理委託量	t t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者へ処理を委託している。	
①現状	

(第5面)

【目標】			
特別管理産業廃棄物の種類			
全処理委託量	別紙集計用シートのとおり t t		
優良認定処理業者への 処理委託量	t t		
再生利用業者への 処理委託量	t t		
認定熱回収業者への 処理委託量	t t		
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t		
<p>②計画</p> <p>(今後実施する予定の取組) 今後も可能な限り、優良認定処理業者へ処理を委託する。</p>			
【前年度（令和5年度）実績】			
<table border="1"> <tr> <td>特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)</td><td>60 t</td></tr> </table> <p>電子情報処理組織の使用 に関する事項</p> <p>(今後実施する予定の取組等) 令和6年4月より電子マニュフェストを導入している。</p>		特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	60 t
特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	60 t		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

特 別 管 理 産 業 廃 物 处 理 計 画 書 の [集計用シート]

- 下表にない種類の特別管理産業廃棄物については、「特別管理産業廃棄物の種類」欄に、品目名を記載してください。
- 行が不足すれば、適宜追加してください。

特別管理産業廃棄物の種類	① 傷出量(t)	② 自ら直接再生利用した量(t)	③ 自己保管店販又は 海洋投入分とした量(t)	④ 自ら中間処理した量(t)	⑤ そのうち熱回収を行った量(t)	⑥ 自ら中間保管した後の残さ量(t)	⑦ 自ら中間処理により減量化した量(t)	⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量(t)	⑨ ⑧のうち熱回収を行った量(t)	⑩ ⑨のうち熱回収を行った後の残さ量(t)	⑪ ⑩のうち熱回収により減量化した量(t)	⑫ ⑪のうち自己保管 又は海上投入分とした量(t)	⑬ ⑫のうち熱回収を行った量(t)	⑭ ⑬のうち自己保管 又は海上投入分とした量(t)	⑮ ⑭のうち熱回収を行った量(t)	⑯ ⑮のうち自己保管 又は海上投入分とした量(t)	⑰ ⑯のうち熱回収を行った量(t)	⑱ ⑰のうち自己保管 又は海上投入分とした量(t)	⑲ ⑱のうち熱回収を行った量(t)	㉑ ㉔のうち熱回収を行った量(t)	㉒ ㉑のうち自己保管 又は海上投入分とした量(t)	㉓ ㉒のうち熱回収を行った量(t)	㉔ ㉓のうち自己保管 又は海上投入分とした量(t)				
	㉕ ㉔のうち熱回収を行った量(t)	㉖ ㉕のうち自己保管 又は海上投入分とした量(t)																									
はで子供たちの健康を守るために、安全な環境をつくることを目的としたもの																											
当該事業場において生じた 産業廃棄物の種類ごとの量 分のものについては、実施行 ておこなわれたもの	①の量のうち、中間処理をせず 直接自ら再生利用した量	②の量のうち、中間処理せざる まま自ら再生利用した量	③の量のうち、中間処理した 産業廃棄物の海上投入分とした量	④の量のうち、中間処理した 産業廃棄物の海上投入分とした量	⑤の量のうち、中間処理を行った量	⑥の量のうち、中間保管した量	⑦の量のうち、中間処理により減量化した量	⑧の量のうち、自ら利用し 又は他人に売却した量	⑨の量のうち、自ら熱回収分 及び海上投入分とした量	⑩の量のうち、自ら熱回収を行 った後の残さ量	⑪の量のうち、自ら熱回収により減量化した量	⑫の量のうち、自己保管 又は海上投入分とした量	⑬の量のうち、自己保管を行 った量	⑭の量のうち、自己保管を行 った量	⑮の量のうち、自己保管を行 った量	⑯の量のうち、自己保管を行 った量	⑰の量のうち、自己保管を行 った量	⑱の量のうち、自己保管を行 った量	⑲の量のうち、自己保管を行 った量	㉑の量のうち、自己保管を行 った量	㉒の量のうち、自己保管を行 った量	㉓の量のうち、自己保管を行 った量	㉔の量のうち、自己保管を行 った量				
新年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	新年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	新年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	新年度実績	今年度目標	新年度実績	今年度目標	新年度実績	今年度目標	新年度実績	今年度目標	新年度実績	今年度目標	新年度実績	今年度目標	新年度実績	今年度目標		
機油(引火性)												0	0					0	0					0	0	0	0
廃油(特管)												0	0					0	0					0	0	0	0
廃アルカリ(特管)												0	0					0	0					0	0	0	0
感染性廃棄物	60	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	55	0	0	0	0	60	55	0	0	0	
廃PCB等												0	0					0	0					0	0	0	0
廃石綿等												0	0					0	0					0	0	0	0
機油(特定有害)												0	0					0	0					0	0	0	0
汚泥(特定有害)												0	0					0	0					0	0	0	0
合計	60	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	55	0	0	0	0	60	55	0	0	0	

(注)トーン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載可。